

施策マネジメントシート

基本施策名 017 生涯学習の環境づくり	施策 統括課	公民館	氏名	石田 進
政策名 3 文化・生涯学習・スポーツ	主な 関係課	くにたち中央図書館、生涯学習課		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

市民

施策の目的

市民一人ひとりが生涯学習に取り組み、様々な局面で学ぶことができるとともに、様々な学びを通して、学習の成果を地域社会で活かすことのできるまちを目指します。

対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
エ	

成果指標 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない

名称(展開方向ごとに記載)	単位
1 ア 日常何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%
イ 市が主催する生涯学習事業の参加者数	人
2 ア 図書貸出冊数	万冊
イ 公民館使用者数	人
3 ア 学習活動に取り組んでいる市民の中で、学習を通じて身につけた知識や技術を地域や社会に生かしている市民の割合	%
イ	
3 ア	
イ	

2 第1次基本計画期間(平成28～35年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1 学習機会の充実と学習情報提供の推進	日常的に様々な生涯学習に取り組む市民を増やすとともに、学習を通じて生きがいを得ている市民を増やします。	一人ひとりのテーマに合わせた学習情報の提供を推進します。 公民館・図書館等の公共施設や教育施設等を活用した学習・交流機会の提供を推進します。 市内の大学・高校等の多様な「知の拠点」との連携により、学びを深める機会を創出します。
2 学習成果を活かせる環境づくりの推進	生涯学習による市民の学習成果を学校・家庭・地域等の日常で活かせる環境づくりを推進します。	図書館協力ボランティアなど、学習成果を学校・家庭・地域等の日常で活かせる環境づくりを推進します。 幅広い分野で展開している事業を相互に連携させることにより、学校・家庭・地域の教育力向上の効果を高めるため、生涯学習施策を体系化します。
3		
4		

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

単位		数値区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	目標達成度			
対象指標	ア	人	見込み値 実績値	74,546 75,054								達成・ 未達成	前年度 比較		
	イ		見込み値 実績値												
	ウ		見込み値 実績値												
	エ		見込み値 実績値												
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値	62.3	62.3	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	達成	向上	
				目標値	64.0	64.7	65.5	66.2	67.0	67.0	68.0	69.0			70.0
				実績値	66.8	67.9									
		基本計画における 指標の説明又は出典元				国立市市民意識調査									
		イ	人	成り行き値										達成	向上
				目標値	8,000	8,250	8,500	8,750	9,000	9,250	9,500	9,750	10,000		
	実績値			8,065	8,320										
	基本計画における 指標の説明又は出典元				公民館における生涯学習事業の参加者数										
	ア	万冊	成り行き値										未達成	低下	
			目標値	51.0	51.5	52.0	52.5	53.0	53.5	54.0	54.5	55.0			
			実績値	53.7	50.8										
	基本計画における 指標の説明又は出典元				図書貸出数										
イ	人	成り行き値										達成	向上		
		目標値	71,000	71,500	72,000	72,500	73,000	73,500	74,000	74,500	75,000				
		実績値	56,991	73,890											
基本計画における 指標の説明又は出典元				公民館施設使用者数											
展開方向2	ア	%	成り行き値	54.6	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	達成	向上	
			目標値	34.0	34.7	35.5	36.2	37.0	37.7	38.5	39.2	40.0			
			実績値	34.4	35.6										
	基本計画における 指標の説明又は出典元				国立市市民意識調査										
	イ		成り行き値												
			目標値												
実績値															
基本計画における 指標の説明又は出典元															
展開方向3	ア		成り行き値												
			目標値												
			実績値												
	基本計画における 指標の説明又は出典元														
	イ		成り行き値												
			目標値												
実績値															
基本計画における 指標の説明又は出典元															
事務事業数			本数	17											
施策コスト	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都道府県支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他	千円												
		一般財源	千円		143,114										
	事業費計 (A)	千円		143,114	0	0	0	0	0	0	0	0			
	人件費	延べ業務時間	時間		67,640										
	人件費計 (B)	千円		211,555											
トータルコスト(A)+(B)			千円	354,669	0	0	0	0	0	0	0	0			

4 施策の成果実績値に対する評価

(1) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)

B:成果がどちらかと言えば向上した

(2) 他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)

B:他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である

背景として考えられること

国立市は市民の自治意識が高く、他市に比べ社会教育や生涯学習に取り組んでいる市民の割合が高い傾向にあることが考えられる。

平成28年度は前年度のように空調機器取替工事による2カ月間の公民館休館がなく、年間を通じて安定した学習の場が提供できたことも利用者増加の一因になったと考える。

5 施策の現状 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・近年、市民の学習機会の多様化・高度化により、学習活動が活発化する一方、地縁や人間関係の希薄化など多くの課題が生まれている。そのような社会環境を改善するため、行政は地域連携や生涯学習施策などを通じ、将来にわたる学習環境の整備や地域への学習還元などを推進・支援することが求められている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・住民や議会からは生涯学習施設の増設・開設時間延長や生涯学習活動の充実が求められている。
 ・財政改革審議会の最終答申では、市直営施設の管理運営のあり方について検討が求められている。
 ・平成27年度事務事業評価委員会で公民館だよりの役割が認識されるとともにより一層の向上も求められている。

6 28年度の評価結果 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の取組状況

28年度の取組状況	29年度の取組予定
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課や公民館、図書館の活動を通じて、生涯学習活動への支援に努めた。 ・図書館では、国分寺市、府中市、立川市との相互利用を継続している。第二次国立市子ども読書活動推進計画に基づき、読書意欲向上を図るため、小学生向けブックリストを作成し、窓口等で配布した。 ・第21期社会教育委員の会では、諮問「生涯学習振興・推進計画」に関わる基本施策の体系や重点施策等、そのあり方について、討議を重ねた。 ・第30期公民館運営審議会から「国立市公民館の事業評価のあり方について」の答申が提出された。 ・第20期図書館協議会から「第20期図書館協議会報告と提言」が提出された。 ・中央図書館に公衆無線LANを敷設し、図書館施設の利用環境が向上した。 ・図書館雑誌広告掲載事業を開始し、広告主より雑誌3誌が提供され、図書館事業に支援があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次国立市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの豊かな読書活動の推進に資するため、幼児向けブックリストを作成し、配布する。 ・第31期公民館運営審議会では前期答申を踏まえ、更なる公民館事業の審議や調査を行う。 ・市制50周年記念事業として、ともに国立市出身の一橋大学長と京都大学総長の対談方式講演会を芸術小ホールで開催する。 ・第21期図書館協議会では、前期報告と提言を踏まえ、図書館事業の現状を把握し、そのあり方を議論していく。 ・第21期社会教育委員の会より、「生涯学習振興・推進計画」に関わる基本施策の体系や重点施策等、そのあり方について、の答申を提出する。また、第22期社会教育委員の会を立ち上げ、諮問「生涯学習振興・推進計画について」討議する。 ・市制50周年記念講演会、戦争体験講話、谷保矢川のまちあるき等、7つの新規企画事業を実施するとともに、館報紙面のページ数及び配布する関係機関を増やし、図書館の利用を促進する。

(2) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) 必要に応じて展開方向ごとに記載

総合基本計画及び28年度行政経営方針に照らして評価する

・市民の自己学習や地域力は把握しづらい側面があるが、生涯学習課や公民館、図書館の活動によって、市民一人ひとりが生涯学習に取り組み、様々な学びを通して学習の成果を地域社会で活かすことを実施した。
 ・公民館では実施計画における若者支援事業(中高生学習支援)参加者が前年度より増加し、取組が向上した。
 ・図書館では、小学生向けブックリストを作成し、図書案内としての活用を図り、読書意欲の向上に繋げた。さらに、中学・高校生のYA実行委員会によるYAコーナー充実、参加型講演会の企画や、音訳資料の提供をはじめとするしょうがいしゃサービス、お話し・行事等の実施による児童サービスが定着し、市民に対し様々な学習効果を上げた。

7 施策の課題・今後の方向性 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 30年度の取組方針

・公民館主催事業や講座を中心に市民の学習意欲の向上や学びを地域社会に還元できる取り組みを実施する。
 ・第三次国立市子ども読書活動推進計画策定に向けて委員会を設置し、1年をかけて計画を策定する。
 ・庁内検討委員会を新たに設置し、「生涯学習振興・推進計画」を策定する。

(2) 中期的な取組方針

多様化・複雑化する地域社会において、市民のニーズに沿った公民館主催事業や講座を開催し、生涯学習に関する市民意識や学習力の向上、学びを地域社会で活かす取り組みを展開する。